

http://ths-net.jp/9.2/thsnet_3342/

3 笑う門には福来る～笑い与健康の関係～（川崎佳巳先生）

笑い学会で笑いの講師団をつとめておられるかたわら、宝塚第一病院で眼科部長をされておられる川崎先生のご講演でした。「幸福の習慣」「幸せをお金で買う5つの授業」などの本を紹介されながら、飾らぬ口調でわかりやすく講演していただきました。大阪では予算を付けたプロジェクトとして笑いをすすめています。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/bunka/news/warai.html>

4 この医院に出会えてよかった：リコール率90%以上のカウンセリング術！！（鈴木誓子先生）

トリートメントコーディネーターの鈴木誓子先生からの、カウンセリングの要点と、カウンセリングシステムのご紹介がありました。

http://isisystem.jp/sm_isikatsu.html

5 アンチエイジング食と消化吸収（川井勇一先生）

かわい内科クリニック院長の川井勇一先生からは、蛋白質の代謝回転を中心としたお話し、糖化に焦点を当てた、炭水化物摂取に関するお話がありました。清水の私見ですが、いわゆる糖質制限には、いろいろな考え方があり、どの考え方が正しいのかは、「万人にたして唯一絶対の方法はなく、対象とする人によって異なる」というのが現状ではないかと考えています。

<http://www.kawai-medical.com/>

6 カリエス罹患率と血管年齢の相関に関して（小峰一雄先生）

電気抵抗値を用いて各臓器の機能や活性度を診断するSKY-10を用いて、カリエス罹患率（カリエスの診断にはディアグノデントを使用）と血管年齢の相関を解析した結果に関する発表がありました。実年齢よりも血管年齢が老化している場合、カリエスの罹患率は高いそうです。

<http://blog.goo.ne.jp/kdlsrcd/e/ff354b416e0918006fda7baef08a4427>

7 歯科分野におけるメディカルアロマセラピーの有用性（大工原忍先生）

キャスター、女優、タレントとして活躍後、メディカルアロマを学びインストラクターとして活躍されておられる大工原忍先生のご講演でした。日本ではまだまだ雑貨扱い、嗜好品としてのアロマですが、フランスなどでは一部保健医療ですし、ドイツでは、ハーブは一部保健医療にもなっています。雑多に申し上げますと、植物化学成分のうち、蒸留で得られた脂溶性成分がアロマという感じです。ハーブは、植物そのものを使うことが多いです。

今後、統合医療の推進ということを考えますと、サプリのみならず、このアロマの分野もまた臨床応用されてゆくことでしょう。

<http://www.aroma.cx/>

